



おとひめ



山口キャラクター
「おとちゃん」と「かめはかせ」

令和4年8月26日(金)

夏休みならではの貴重な学び

山口小学校長 加藤 美香

島崎藤村先生の教えに「三智」があります。

人の世に三智がある。学んで得る智，人と交わって得る智，みづからの体験によって得る智がそれである。

本を読んだり話しを聞いたりして自らの学びで得る知恵，人との交流を通して人から得る知恵，実際に体験して得る知恵は，子どものよりよいひとりだちにつながる大切な知恵であると考え，山口小学校でも「三智」を大切に教育活動を行っているところです。この教えは，学校という場所に限らず，家庭や地域の中においても子どもが得ることができる知恵です。夏休み中は，家庭でのふれあいや地域で過ごす中で，子どもの学びにつながる体験が多くあったことでしょう。その一つを紹介します。

7月31日(日)，諏訪神社にて例祭が執り行われました。コロナ禍により2年間取りやめていた例祭を舞奉納のみに縮小して執り行うこととなり，5年生と6年生の女子6名が舞を奉納しました。彼女たちの真剣で厳かな表情，凛として舞う姿は，私が学校生活の中で見たことがない表情や姿でした。彼女たちが舞う姿に，地域の方によって脈々と引き継がれてきた伝統文化の重み，そして娘の舞に思いを馳せる母親の美しい横顔が重なり，胸が熱くなりました。当日までに真剣に練習を重ねる中で，心構えができ，本番の素晴らしい姿につながったのでしょう。まさに家庭・地域の中にある三智。この体験から彼女たちが得たものは，いくつになっても忘れることのない「ふるさと山口を思う心」だったのではないのでしょうか。

各家庭におかれましても，コロナ禍の中，家庭での学習やお手伝い，遊びなどを通して子どもの学びと健康をサポートいただきましたこと，心より感謝申し上げます。今後も家庭，地域と力を合わせ，子どもたちのよりよいひとりだちに向けて尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

